

アジアとヨーロッパの交差点 火に守られている国：アゼルバイジャン

南コーカサスに位置するアゼルバイジャンは、北はロシア、北西はグルジア、西はアルメニア、南はイランと接しており、東はカスピ海に面しています。アジアとヨーロッパを結ぶシルクロードの中継地として栄え、現在は豊富な石油産出国としてよく知られています。「風の街」といわれる首都のバクーは、壮大な計画の下現在も発展、変化し続けています。ゲストのメーリバンさんはバクー出身で2012年来日、2年後に帰国した時、その変化に大変驚かれたそうです。アゼルバイジャンは「火に守られている国」という意味です。新旧の文化が交錯するアゼルバイジャンを広く紹介していただきます。

日時	： 2017年 7月15日(土) 10:30~12:00		
ゲスト	： アーマドバ メーリバン (Ahmadova Mehriban) さん 名古屋大学大学院 経済学研究科 経済学部 産業経営システム 学院生		
場所	： 名古屋 YWCA 2階		
会費	： 500円 (お茶付き)	： (予約不要)	



主催：名古屋 YWCA 国際交流会 (担当吉澤)
名古屋市中区新栄町 2-3
(地下鉄栄駅 5 番出口東へ徒歩 5 分)
電話：052-961-7707
FAX：052-961-7719

<http://www.nagoya-ywca.or.jp>